

# 2023年度金融系外国企業発掘誘致事業RFP —Attraction U Project—

2023年3月20日  
FinCity.Tokyo事務局

# 背景・目的

- 東京都は、東京を世界から資金・人材・情報が集まる国際金融拠点として復活させるべく取組を進めているところである。その実現に向けた施策の1つとして、新たな資産供給の担い手となり、国民の安定的な資産形成に資する資産運用業及びあらゆる分野において新たなビジネスの手法を提供するフィンテック企業をアジアヘッドクォーター特区内及び国家戦略特区内(以下、「特区内」という。)に誘致する「金融系外国企業発掘・誘致事業」を平成 29年度から開始した。
- 東京に能動的に金融系外国企業を呼び込むためには、東京に進出意欲のある企業を発掘し、日本進出の阻害要因となっている日本特有の金融市場・規制・金融機関のニーズ等への情報提供や、東京への進出計画の具体化に向けたきめ細かなサポートを行い、誘致に資する活動を積極的に行っていく必要がある。
- そこで、「国際金融都市・東京」構想 2.0をもとに、当事業を一般社団法人東京国際金融機構(以下、「FCT」という。)に移管し、金融系外国企業を効果的に発掘し、誘致することを目的として、本委託業務を実施する。

# 課題

- 当該事業は2017年度より東京都において事業が開始され、2021年度まで東京都が実施してきた。
- 東京都において、過去5年間に支援してきた企業65社のうち、実際に東京に進出している企業は現時点で全体の約3割程度である。
- FinCity.Tokyoにおいて、2022年度は約25社程度の企業を支援してきており、そのうち約13社が2023年度(資産運用会社であれば2024年度)の事業開始に向け進出の準備をしている。
- 一方、東京で事業を開始するためには、国際展開をする上での資金的体力が必要であると同時に、東京におけるビジネスパートナーの存在を獲得しておく必要がある。
- 2023年度の事業では、2022年度に支援してきた未進出企業の課題解決を支援し東京進出を促進させるだけでなく、支援企業を選定する際には外国企業の事業規模だけでなく、東京におけるビジネス機能や事業成長可能性等を踏まえて支援候補先を選定する必要がある。

# 2023年度事業の考え方

## Attractionの事業目的とその因数分解

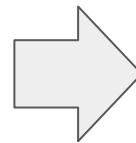
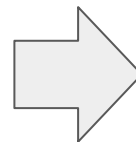
- 東京への経済波及効果 (Economic impact)
- 資産運用エコシステムの活性化及び金融デジタル化の推進 (Investment ecosystem enhancement)

誘致企業数  
(# of companies)

誘致企業の規模  
(size of companies)

誘致企業の国内  
成長  
(growth potential)

誘致企業の機能  
(function)



2023年度の目標

資産運用会社5社、フィンテック企業  
10社の進出の意思決定

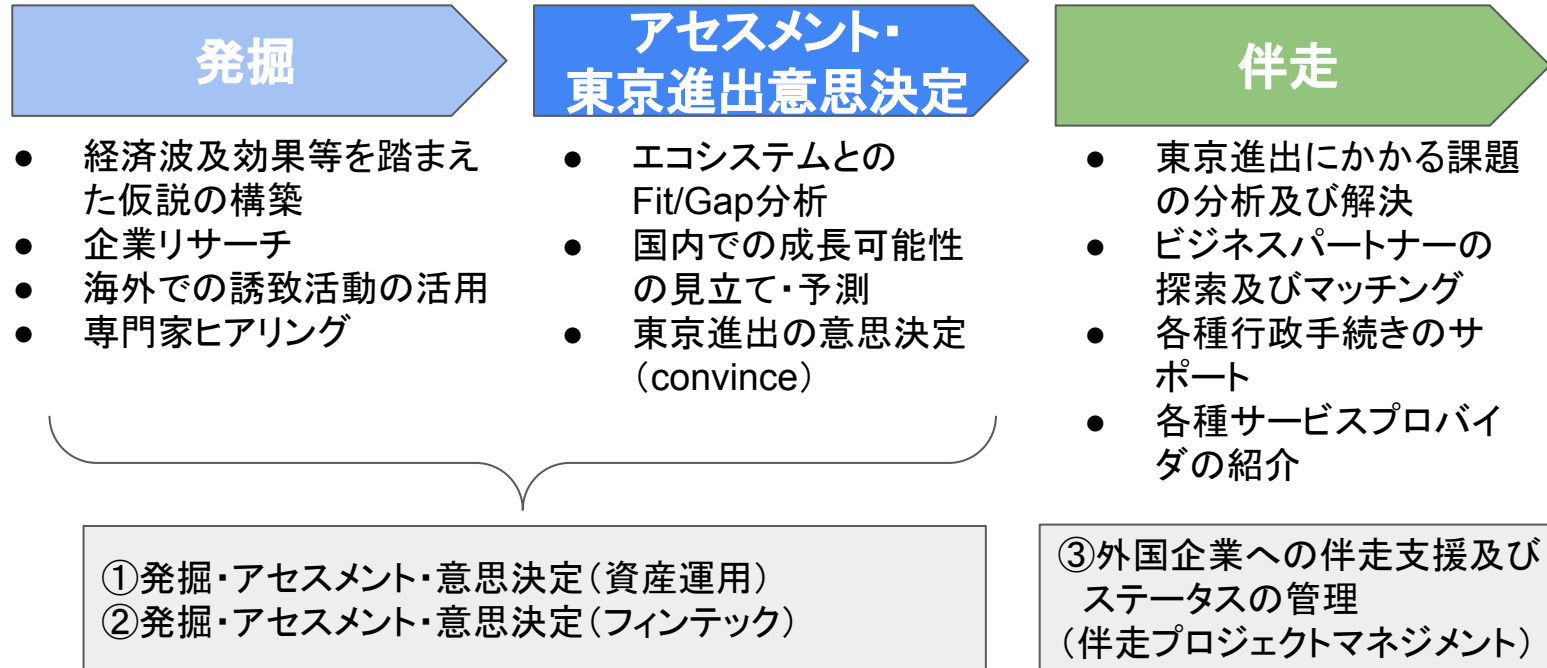
資産運用残高合計100億米ドル及び  
企業価値評価額合計10億米ドル企業  
の事業開始等

仮説の構築及びそれに沿った企業を発掘しながら対象を絞り込み、上記目標が達成できる企業を抽出する。

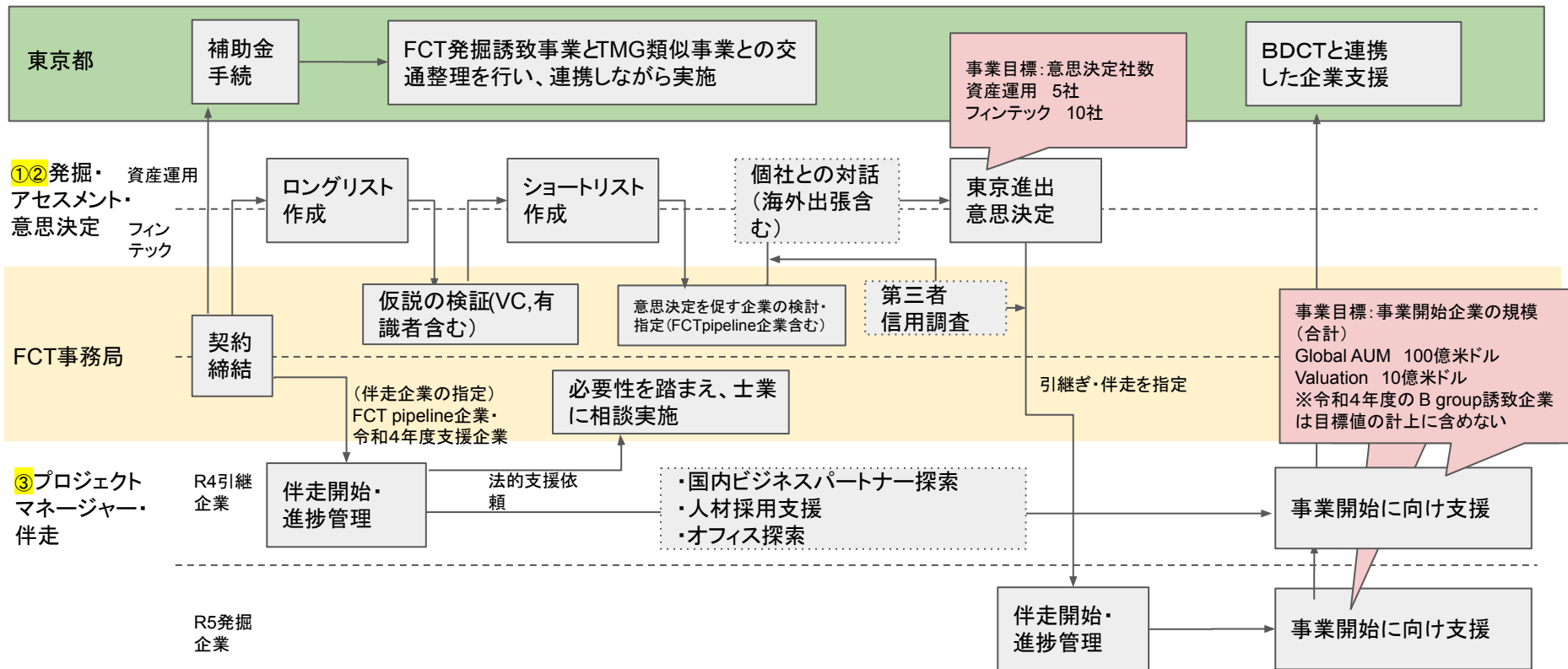
# 事業の全体概要

発掘してきた外国企業の意味決定を促し、伴走しながら事業開始までを支援

- 各工程における専門的な能力の違いを踏まえ、RFPを分割
- 下記の項目は各工程の例示を列挙



# 各担当における分担・運営フローの概要



※発掘・アセスメント・意思決定は、2 player(資産運用・フィンテック)

# 求める事業者像

FCTと共通認識をもって協力しながら、事業目的に進むことができるビジネスパートナーを求めており、理想像の具体例としては以下のとおり。

## 理想像

- 自社にとっての短期的な利益よりも、クライアントおよび東京都民に対する **長期的な効用**を優先する
- **事業目的とKPIのalignment**を先ず確認する
- 事業目的と**価値観**をFCTと共有して協業できる
- 成果物の体裁ではなく、**内容とインパクト**にこだわる
- 当該事業に限定するのではなく、誘致対象企業との **長期的な関係構築**を目指す
- 短期的な利益を追求するのではなく、**東京金融エコシステム**の一員としての**信頼関係構築**を重要視する
- Globalな視点を持つ。当該事業に限定するのではなく、東京金融エコシステムの一員として **global network**の構築に努める

# 各担当RFP

①発掘・アセスメント・意思決定(資産運用)



# 委託業務の内容・条件

## 【委託業務内容】

- 東京の金融エコシステムの高度化に寄与する仮説の構築
  - 東京の金融エコシステムに必要な仮説(少なくとも2テーマ)の提示  
その際、東京(日本)の産業や国内金融機関等からニーズのある分野特定し、東京(日本)の経済に与えるインパクトを定性的に示すこと
  - FCTが承認した上記仮説に基づく企業ロングリストH5社をFCTと協議のうえ作成  
(RFPには少なくとも各テーマ2社を記載し、東京進出後のgrowth storyを記載すること)
- FCTが指定した企業への東京進出後の成長モデル(growth story、business opportunity&market fit/gap)の仮説構築
- FCTが指定する企業(FCT Pipeline企業を含む)の東京進出の意思決定を促し Convince)、事業者③(③外国企業への伴走支援及びステータスの管理の受託者)に引継ぐ
- FCTの海外訪問を効果的に活用する支援(個社との訪問アポ取り等)
- 報告書作成(定例会議事メモ、毎四半期/年度末の報告書作成、フォローアップ調査、事後検証等を含む)

## 【対応期間・金額等】

- 対応期間 : 2023年5月～2023年3月
- 委託金額 : 固定報酬25,000,000円 + 成功報酬25,000,000円(詳細は次ページを参照)  
(税込み、その他経費込み)
- 評価 : 提案内容を総合的に判断して社に選定

## 【目標】

- FCTが指定する5社の東京進出の意思決定を促し、伴走者に引継ぐこと

# 委託業務の報酬体系 別表①(発掘・資産運用)

【成功報酬表(税込)】

## インセンティブ報酬

伴走者に引継いだ社数	引継いだ企業の規模	ロングリスト社数
1社あたり2,000,000円 (上限金額: 10,000,000円)	Global AUMが10億米ドルあたり1,000,000円 (上限金額: 10,000,000円)	1社あたり300,000円 (上限金額: 5,000,000円)

ベース報酬: 25,000,000円

# 評価項目

- 経験・知識
  - 資産運用業界の経験(コアメンバーの経験年数)
  - 実績(類似した事業の経験)
  - 資産運用業界内の国際的なネットワーク・人脈
- 問題解決能力・プロジェクト管理能力
  - growth story、business opportunity& market fit/ gapの仮説構築
  - 会社にcontactしてからconvinceする提案力
  - 効果的な事業実施方法の提案力
- 企業誘致への熱意
  - 「支援先企業ファースト」のマインド、信頼できる相談先となれるか

# 各担当RFP

②発掘・アセスメント・意思決定(フィンテック)

# 委託業務の内容・条件

## 【委託業務内容】

- 東京の金融エコシステムの高度化に寄与する仮説の構築
  - 東京の金融エコシステムに必要な仮説(少なくとも3テーマ)の提示  
その際、東京(日本)の産業や国内金融機関等からニーズのある分野特定し、東京(日本)の経済に与えるインパクトを定性的に示すこと
  - FCTが承認した上記仮説に基づく企業ロングリスト35社をFCTと協議のうえ作成  
(RFPには少なくとも各テーマ2社を記載し、東京進出後のgrowth storyを記載すること)
- FCTが指定した企業への東京進出後の成長モデル(growth story、business opportunity&market fit/gap)の仮説構築
- FCTが指定する企業(FCT Pipeline企業を含む)の東京進出の意思決定(Convince)を促し、事業者③(③外国企業への伴走支援及びステータスの管理の受託者)に引継ぐ
- FCTの海外訪問を効果的に活用する支援(個社との訪問アポ取り等)
- 報告書作成(定例会議事メモ、毎四半期/年度末の報告書作成、フォローアップ調査、事後検証等を含む)

## 【対応期間・金額等】

- 対応期間 : 2023年5月～2023年3月
- 委託金額 : 固定報酬20,000,000円 + 成功報酬25,000,000円(詳細は次ページを参照)  
(税込み、その他経費込み)
- 評価 : 提案内容を総合的に判断して社に選定

## 【KPI】

- FCTが指定する10社の東京進出の意思決定を促し、伴走者に引継ぐこと

# 委託業務の報酬体系 別表②(発掘・フィンテック)

## 【成功報酬表(税込)】

### インセンティブ報酬

伴走者に引継いだ社数	引継いだ企業の規模	ロングリスト社数
1社あたり1,000,000円 (上限金額: 10,000,000円)	corporate valuationが1億米ドルあたり1,000,000円 (上限金額: 10,000,000円)	1社あたり150,000円 (上限金額: 5,000,000円)

ベース報酬: 20,000,000円

# 評価項目

- 経験・知識
  - 金融業界、フィンテック業界、デジタル業界の経験(コアメンバーの経験年数)
  - 実績(類似した事業の経験)
  - 金融デジタル業界の国際的なネットワーク・人脈
- 問題解決能力・プロジェクト管理能力
  - growth story、business opportunity& market fit/ gapの仮説構築
  - 会社にcontactしてからconvinceする提案力
  - 効果的な事業実施方法の提案力
- 企業誘致への熱意
  - 「支援先企業ファースト」のマインド、信頼できる相談先となれるか

# 各担当RFP

- ③外国企業への伴走支援及びステータスの管理  
(伴走プロジェクトマネジメント)



# 委託業務の内容・条件

## 【委託業務内容】

- 令和4年度の「金融系外国企業発掘・誘致事業」で誘致された企業、及び同事業に関心を示し FCTが接点を持った企業(約20社)の東京での事業開始に向けた伴走支援の提供。なお、伴走支援には主に、協業先の開拓(ビジネスマッチング)、支援先企業の直面する課題の分析と解決策の提示、専門家やサービスプロバイダー等(法務、ビザ、税務、人材、オフィス等)との連携が含まれる。
- FCTがこれまで接触し、東京進出に初期的関心を得られた金融系外国企業(約 10社)の東京進出に向けた伴走支援の提供。
- 令和5年度事業「発掘・アセスメント・意思決定」担当により東京進出の意思決定が確認された企業 15社に対する伴走支援の提供。
- 支援先企業の東京進出に向けた進捗の管理。

## 【対応期間・金額等】

- 対応期間 : 2023年5月～2024年3月
- 委託金額 : 固定報酬 35,000,000円 + 成功報酬 35,000,000円(詳細は次ページを参照)

## 【KPI】

- FCTが指定する企業を支援し、資産運用残高合計100億米ドル及び企業価値評価額合計10億米ドル企業の事業開始等(登記を含む)をさせること。(※目標値への計上方法の詳細は FCTと協議のうえ決定する)

# 委託業務の報酬体系 別表③(伴走・プロジェクト管理)

## 【成功報酬表(税込)】

### インセンティブ報酬

Phase 3または4に到達できた資産運用会社のAUM総額	Phase 3または4に到達できたフィンテック企業の企業価値総額	支援により企業が前進できたフェーズ数	法人登記完了企業数	金商法業登録申請完了企業数
Global AUMが10億米ドルあたり 1,000,000円 (上限金額 : 10,000,000円)	Corporate valuationが1億米ドルあたり 1,000,000円 (上限金額 : 10,000,000円)	1フェーズあたり 200,000円 (上限金額 : 5,000,000円)	1社あたり 500,000円 (上限金額: 5,000,000円)	1社あたり 1,000,000円 (上限金額 : 5,000,000円)

ベース報酬: 35,000,000円

# 伴走フェーズの前進について

## 事業開始まで伴走したサポートを実施

- 新規拠点設立に向け、金融系外国企業の進出課題を解消し、東京での事業開始まで導く
- 各フェーズにおける支援例を下記に例示列举

目標値へ計上

Phase 1	Phase 2	Phase 3	Phase 4
Interested to launch	Planning to launch	Launching/ Licensing	Launched
Convinceされ、東京進出について具体的検討を始める	具体的な情報収集を始める。 進出に向けたタイムラインを明確化する 令和4年度の投資計画書取得 企業はここに該当	銀行口座開設、会社登記、業登録申請等を開始	事業スタート

- 東京進出にかかる課題の分析
- 国内ビジネスパートナーの探索及びマッチング
- 進出コスト試算

- 銀行口座開設
- 法人登記
- ライセンス・認証の申請
- 都内オフィスの探索支援
- 東京で活動する人材の雇用支援
- 各種サービスプロバイダの紹介
- 各種行政手続きのサポート
  - 住居・生活サポート
  - 住民票・証明書等取得支援
  - ビザ支援
  - 法務・規制調査
  - 税務助言

- 税務関連(開設届等)
- 労務関連(社会保険加入等)
- ライセンス・認証取得を受領

# 評価項目

- 経験・知識
  - 外国系企業の日本進出支援への経験(コアメンバーの経験年数)
  - 実績(類似した事業、このテーマでの経験)
  - 人脈・相談先・マッチング先のネットワーク
- 問題解決能力・プロジェクト管理能力
  - 外国企業の東京進出に至るまでの課題、必要とされる支援を特定できる
  - 多数の企業の東京進出へのタイムラインを管理し、必要な支援を適切なタイミングで提供できる体制を有している
- 企業誘致への熱意
  - 「支援先企業ファースト」のマインド、信頼できる相談先となれるか

# 提案書の提出方法について

提案書の提出方法については、以下の1又は2とおりとする。

1. ①、②、③の各担当ごとに応札したい場合は、希望する担当RFPごとに提案書を提出する。  
(①、②、③の3つ全てを提出してもよい。)
2. ①～③を一括で応札したい場合は、1つの提案書に統合して提出する。  
なおその場合、①、②、③の各担当ごとに個別の評価は行わない。

## 【提出期限について】

4月7日(金)17:00までに以下①及び②をFinCity.Tokyo事務局宛に提出すること。なお、以下①については、大容量ファイル送信サービス等を利用し、メールで提出すること。

- ① プレゼン動画(各社最長45分(①～③をまとめて1本で提出する場合も含む)、mp4形式)
- ② 提案書(PDF形式)

提出先: FinCity.Tokyo事務局宛 Core@fincity.tokyo

## 【当面のスケジュール(予定)】

- 3月20日(月) RFP公表
- 4月7日(金) 17:00 提案書等提出期限
- 4月13日～4月19日 質疑会
- 4月下旬 東京都との意見交換\*、契約予定事業者の選定、  
選定した事業者との契約について理事会決議
- 5月中旬以降 契約締結、事業開始

\*東京都との意見交換の結果、再度質疑会を実施する可能性があります。

※質疑会の期間については、スケジュールの確保をお願いいたします。

提出いただいた動画及び提案書を基に審査を行い、その後 FinCity.Tokyoが指定する企業について質疑会を実施いたします。選定に関する理由は非公表となります。

**選定された事業者が、理事会での承認が得られない場合は、次点の事業者との契約となります。**

# 支払い方法

- 契約期間満了時に提出する納品物(報告書)をもって 2023年度末までに支払う

## 業務履行にあたっての留意点

- 本事業の企画・運営にあたっては、無理のないスケジュールを立案の上、適切な進行管理を行い、期限を遵守するとともに、確実に業務を執行すること。
- 本事業を円滑に推進するため、事業の実施方針や進め方、技術的対応等について、FinCity.Tokyoと十分に調整を図るとともに、FinCity.Tokyoから申し出があった場合には、速やかに本委託業務の進捗状況を報告すること。
- 契約金額には本業務の履行にかかる一切の費用を含むものとし、金額的に実施不可能な提案は行わないこと。
- 本委託業務の実施に当たり知り得た情報については、他の目的で使用する事及び売買することを禁止する。本委託契約終了後も同様の取扱いとする。
- 本事業は、東京都の令和5年度歳入歳出予算が、令和5年3月31日までに東京都議会で可決された場合において、事業者審査会を開催するものとする。

## 権利の帰属

- この仕様書に基づく業務により作成された作成物に係る著作権の全ては、FinCity.Tokyoに帰属するものとする。受託者は、FinCity.Tokyo及びその指定する者に対して成果物の著作権者人格権の行使をしないこと。
- 作成等に当たり、第三者の著作物を利用する場合には、当該第三者から受託者が適切な許諾を得ておくこと。なお、委託完了後もFinCity.Tokyoが無償で著作物を利用できるようにすること。
- 作成等に当たり、他者の著作権を含む知的財産権、肖像権その他のいかなる権利も侵害しないこと。万一他者の権利に抵触した場合は、受託者の責任と費用をもって適正に処理すること。

### <問い合わせ先>

一般社団法人東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)

事務局 竹腰・高橋

naomi.takegoshi@fincity.tokyo

masaki.takahashi@fincity.tokyo



# appendix

# 2023年度海外プロモーション(案)

FY2023



NewYork

WAIFC  
AGM NY

London

全4回を予定

◆10月 New York、ドバイ

◆11月 Singapore

◆1、2月頃 London※

(※時期については、会員企業との調整)

ドバイ

Cop28  
FC4S

Singapore

Singapore  
Fintech  
Festival  
11/15-17

海外プロモーション

海外参加予定イベント